

【本の要約サービス「flier」月間ランキング】 時間の使い方をアップデートできる書籍が多数TOP10入り フェアは全国120店舗以上の書店で開催

累計会員数115万人を突破した本の要約サービス「flier（フライヤー）」を運営する株式会社フライヤー（本社：東京都千代田区、代表取締役CEO 大賀康史）は、2024年4月のビジネス書月間ランキングを発表しました。



今回、第1位に選ばれた要約は『やることを8割減らすダンドリ術』（飯田剛弘／大和書房）でした。本書では、「やらなくてもいいこと」を見極め、本当に重要なことに集中するためのメソッドが紹介されています。タイトル通り、実際にやることが8割減れば、どれほどいいだろうかと多くの人が感じたことが、この要約が1位に選ばれた理由の一つでしょう。

今回のランキングTOP10には、第1位の書籍を含め、「時間の使い方」に焦点を当てた書籍が多くランクインしました。第2位の『週末ひとり時間』（池田千恵／三笠書房）や、第7位の『時短の一流、二流、三流』（越川慎司／明日香出版社）など、単に効率を上げるだけでなく、生活を豊かにするための時間の使い方を学ぶことができる書籍が多く支持を得ました。

本ランキングは、flierの有料会員を対象に、スマホアプリおよびウェブのアクセス数（紹介書籍の要約閲覧数）を合算し順位付け。集計期間は、2024年3月25日～2024年4月24日です。

「flier」ユーザー閲覧数月間ランキングTOP10（2024年4月）

順位	タイトル／著者／出版社
1	『やることを8割減らすダンドリ術』（飯田剛弘／大和書房）
2	『週末ひとり時間』（池田千恵／三笠書房）
3	『新しい教え方の教科書』（北宏志／ぱる出版）
4	『どんな相手も味方になる感じのよい伝え方』（宮本佳実／すばる舎）
5	『スタンフォード式脳と体の強化書』（山田知生／大和書房）
6	『リセットする習慣』（枡野俊明／明日香出版社）
7	『時短の一流、二流、三流』（越川慎司／明日香出版社）
8	『新装版 幸せがずっと続く12の行動習慣』（ソニア・リュボミアスキー、金井真弓（訳）、渡辺誠（監修）／日本実業出版社）
9	『振り回されない練習』（内藤謙人／徳間書店）
10	『一流ファシリテーターの空気を変えるすごいひと言』（中島崇学／ダイヤモンド社）

今回の月間ランキングに基づいたフェアが、イオングループの「未来屋書店」など全国33都道府県、約120店舗の書店にて2024年6月より開催予定です。開催期間や展開書籍・点数は、各店舗によって異なります。

2024年4月 ビジネス書月間ランキング1位 『やることを8割減らすダンドリ術』（飯田剛弘／大和書房）

1位に輝いた本書のテーマは、タイトル通り「やることを8割減らす」ことです。いわゆる、ダンドリ上手な人は進め方がうまいだけではありません。自分が「やるべきこと」と「やらなくてもいいこと」を見極め、「やるべきこと」に集中することが上手なのです。

「やるべきこと」に集中するためにおすすめのメソッドが、やらないことリストを作成することです。「自分の仕事に8割もやらなくていいことがあるのか？」と信じられない人は、まずはリストづくりから始めてみましょう。本書には、リストづくりにおいて重要な7つのポイントも紹介されています。

山積みの仕事に直面して「自分はなんて要領が悪いんだろう」と自信を失ってしまっている人は、本書を読んで「自分がやらなくていいこと」を決め、本当にやるべきことにだけ集中する習慣を身につけていかがでしょうか？



『やることを8割減らすダンドリ術』著者 飯田剛弘氏 コメント

私たち日本人は、よく「忙しい」と言って、それを自慢に思うことがありますね。しかし、ぼくは外資系企業での経験を通じて、一生懸命頑張ることが必ずしも効率的でないことに気づかされました。それから「やることを8割減らす」という考え方方にたどり着きました。本書では、本当に大切なことに集中するための方法を紹介しています。

「自分は要領が悪いかも」と悩むあなたも、実は「やるべきことが多すぎる」だけかもしれません。やらないことリストを作り、他の人に頼ることも考えながら、完璧を求めずに、本当に必要なことだけに集中するよう心がけてみてください。日常生活がどれほど楽に、そして豊かに変わるか、ぜひ体感してください。

この本を通じて、効率的な時間の使い方やストレスのない生活への第一歩を踏み出していくだけだと思います。日々の仕事や生活の中で、何に時間を使うべきかを見直すことで、もっと大切なことに時間を割けるようになり、毎日が充実したものになるでしょう。この変化が、皆さん的人生に新たな光をもたらすことを願っています。



フライヤーとは？

ビジネス書を中心とした本の内容を「1冊10分」に要約してアプリやWEBで閲覧できるサービス。新刊を中心に旬の本や既刊の名著を毎日配信しており、現在3,500冊以上の本を読むことができます。全国で410店舗以上の書店にフライヤー棚を設置しています。



書店フェア

「ネットとリアル書店の融合」をテーマに、書店と連携した企画です。各書籍のPOPに付けたQRコードをスマートフォンで読み取れば、通常は有料の要約文を、どなたでも無料で本に触れずに「立ち読み」ができます。本の大筋を捉えてもらうことで、来店者の興味を高め、“いま出会うべき本”を選べる仕組みです。2024年6月1日（土）から各店で順次開始し、2024年6月30日（日）まで開催予定です。（開始日や開催期間は各書店によって異なります）



<開催概要>

■期間

2024年6月1日（土）～2024年6月30日（日） ※開始日や開催期間は各書店によって異なります

■営業時間

各店舗の営業時間に準ずる

■開催店舗

<北海道>

- ・未来屋書店：琴似店、発寒店、桑園店、アシーネ麻生店、苫小牧店

<岩手県>

- ・未来屋書店：矢巾店

<宮城県>

- ・未来屋書店：新利府南館店、石巻店、古川店、名取店

<秋田県>

- ・未来屋書店：秋田店、大曲店、能代店

<山形県>

- ・未来屋書店：天童店

<福島県>

- ・岩瀬書店：八木田店プラスゲオ、ヨークベニマル福島西店、鎌田店

富久山店プラスゲオ、会津若松駅前店

<茨城県>

- ・未来屋書店：つくば店、下妻店、水戸内原店、土浦店

<栃木県>

- ・未来屋書店：佐野新都市店、小山店、栃木店

<群馬県>

- ・未来屋書店：高崎店

<埼玉県>

- ・未来屋書店：北浦和店、大井店、羽生店、レイクタウン店、せんげん台店、北戸田店、春日部店
上尾店、川口店

- ・須原屋：川口前川店

- ・書房すみよし：丸広南浦和店

<千葉県>

- ・未来屋書店：新浦安店、市川妙典店、津田沼店、新松戸店、成田店、ボンベルタ成田店
幕張店、マリンピア店、幕張新都心店、鎌取店、銚子店、柏店、八千代緑が丘店
木更津店

- ・喜久屋書店：松戸店

<東京都>

- ・未来屋書店：日の出店、東久留米店、多摩平の森店、品川シーサイド店、碑文谷店

- ・書房すみよし：シャポー小岩店

<神奈川県>

- ・未来屋書店：アーネ金沢八景店、天王町店、海老名店、相模原店

- ・書房すみよし：武蔵中原店

- ・住吉書房：元住吉店

<新潟県>

- ・未来屋書店：新潟南店

<富山県>

- ・未来屋書店：となみ店

<石川県>

- ・未来屋書店：杜の里店

<山梨県>

- ・未来屋書店：甲府昭和店

<長野県>

- ・未来屋書店：佐久平店、松本店

<岐阜県>

- ・未来屋書店：各務原店

- ・カルコス：本店、各務原店、穂積店

<静岡県>

- ・未来屋書店：浜松市野店

<愛知県>

- ・未来屋書店：木曽川店、岡崎店、常滑店、東浦店、長久手店、八事店、ナゴヤドーム前店
新瑞橋店、熱田店、大高店

- ・あおい書店：西尾店

- ・カルコス：扶桑店

<三重県>

- ・未来屋書店：鈴鹿店

<京都府>

- ・未来屋書店：久御山店、高の原店

<大阪府>

- ・未来屋書店：茨木店、高槻店、四條畷店、大日店、りんくう泉南店、大阪ドームシティ店

<兵庫県>

- ・西村書店：本店

- ・喜久屋書店：神戸南店、北神戸店

<和歌山県>

- ・未来屋書店：和歌山店

<岡山県>

- ・未来屋書店：岡山店

<山口県>

- ・未来屋書店：防府店

- ・宮脇書店：徳山店、宇部店

<高知県>

- ・未来屋書店：高知店

<徳島県>

- ・平惣：徳島店、阿南センター店、小松島店、田宮店、川内店

<福岡県>

- ・未来屋書店：大野城店、アシーネマリナタウン店、福岡伊都店、笹丘店、香椎浜店、福津店
八幡東店

<宮崎県>

- ・未来屋書店：宮崎店

<鹿児島県>

- ・未来屋書店：鹿児島店、姶良店

累計会員数115万人突破

ビジネス書1冊の大筋を10分で理解できる、書籍要約サービス「flier」 要約は3,500冊超え、ビジネスパーソンの“スキマ時間”活用に一役

株式会社フライヤーは、本の要約サービス「flier（フライヤー）」を運営する、ITベンチャー（2013年6月設立）です。最大の特長は「書評（レビュー）」ではなく「要約」である点です。書き手の主觀に入る書評とは異なり、著者の主張や論理（重要ポイントや全体像）を忠実にまとめ、読者に伝えます。書評でないため、出版社と著者から要約の許可を得る必要があり、要約した原稿にも目を通してくださいことで、高品質なサービスを提供しています。

要約の文字量は4,000字ほどで、10分程度で読める工夫をしています。flierには、新刊（掲載書籍の8割）を中心に、毎日要約文をアップ。現在3,500冊超（2024.5）を掲載しています。要約記事は自社の編集者に加えて、経験豊富な外部ライター約50人が作成します。

サービスは、出版社や書店からも好評です。要約を読み終えた人の15～20%がアマゾンなどのECサイトへアクセスします。多くの出版社から「書籍の売り上げが上がった」「増刷になった」といった評価を得ています。

本を通じてあらゆる人が知や教養を深め、読書や本の文化の裾野を広げることに貢献している点を評価され、「2023年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

書店チェーンでは、書籍のPOPに付くQRコードから、フライヤー内の要約ページを“立ち読み”できる施策を展開し、対象書籍の売り上げを伸ばしています。この実績が評価され、大手書店と「フライヤー棚」を設置したフェアを協業しています。

利用者は、通勤や休憩時といったスキマ時間を有効活用し、効率よくビジネスのヒントやスキル、教養を身につけたい知的好奇心の旺盛なビジネスパーソンです。

最近は、社員教育の一環として法人契約する企業も増え続けています。また、AIの音声読み上げ機能や、ユーザー同士で要約から得た学びを情報交換（シェア）するSNSサービスなど、新たな施策も好調です。日本的人事部「HRアワード2021」ではプロフェッショナル部門の人材開発・育成部門で「flier法人版（現：「flier business」）」が最優秀賞を受賞しました。

会社概要

社名	株式会社フライヤー	設立	2013年6月4日
代表	代表取締役CEO 大賀康史	従業員数	57人（2024年5月）
本社	東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル8F		
事業内容	本の要約サービス「flier（フライヤー）」の開発・運営（ https://www.flierinc.com/ ）		
サービス プランと 月額料金	<p><flier business> 100アカウント月額105,600円（税込）※別途初期費用</p> <p><flier個人利用> ゴールドプラン2,200円、シルバープラン550円、無料プラン（税込） ゴールドと学割は全ての書籍の要約文が読み放題、シルバーは毎月5冊まで読める</p>		

報道各位からのお問い合わせ先

株式会社フライヤー：井手、増田、川上
TEL : 050-5474-5574 MAIL : pr@flierinc.com